

I 認定教科書・市販図書等の使用状況

1. 認定教科書・市販図書等の使用状況調査の実施

(1) 調査の目的及び調査対象施設

この調査は、都道府県立職業能力開発施設（以下「施設」という）のうち、平成14年4月現在開講中の普通課程を設置している施設を対象に、普通課程における各専攻科の認定教科書・市販図書等（以下「教科書等」という）の使用実態を把握し、職業訓練用教科書（改定・作成）計画の基礎資料を得ることと、新しい教材情報を施設等に提供することを目的として実施したものである。

(2) 調査の内容

調査の内容は、教科書等の使用状況として認定教科書並びに市販図書（以下「教科書」という）の購入価格等と、各専攻科で使用している教科書がどの教科目に使用されているのか、その教科書ごとの使用形態等について調査した。

(3) 調査の時期

平成14年6月～同年8月

(4) 調査票の回収

調査票は、調査対象施設191施設に調査票を送付し、180施設から回答を得た。

2. 教科書・市販図書等の使用状況調査結果の概要

(1) 施設における普通課程の設置状況

職業能力開発促進法の訓練基準で普通課程の普通職業訓練（規則第十条、別表第二関係）は、平成10年に職業能力開発促進法施行規則の一部が改正（平成10年労働省令11号）され、現在、訓練系57系、専攻科141科と定められている。

平成14年4月現在、調査対象施設において設置されている訓練系・専攻科は、図1のとおり32訓練系・94専攻科（以下「設置専攻科」という）で、訓練基準に定められた141専攻科に対する設置比率は66.7%である（訓練基準で示された専攻科に準ずる科を設置しているものも含む。）。設置専攻科の教科書のうち、認定教科書を使用している該当専攻科は38専攻科（設置専攻科に対する使用比率45.2%）で、当該専攻科に該当する訓練系は、24系である。

また、市販図書を使用している該当専攻科は54専攻科（設置専攻科に対する使用比率57.4%）で、当該専攻科に該当する訓練系は32系である。

なお、集計結果の詳細は、別添参考資料 [3]「専攻科別の教科書使用形態一覧」及び参考資料 [5]「専攻科（普通課程の普通職業訓練）の設置状況一覧」を参照されたい。

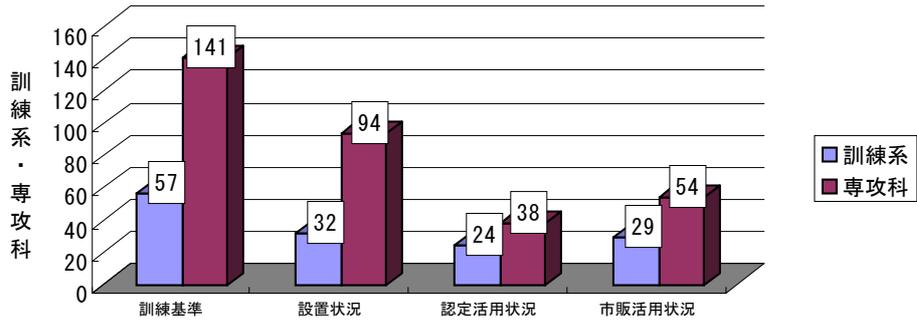


図1 訓練基準に対する専攻科設置状況及び教科書の使用状況

(2) 教科書等の使用形態等

施設における教科書等の使用形態は図2のとおり、認定教科書と市販図書を併用している専攻科が最も多く、65.5%を占めている。次に市販図書のみ使用 30.6%、認定教科書のみ使用 3.9%と認定教科書のみ使用形態は少なくなっている。

なお、集計結果の詳細は、別添参考資料 [2]「専攻科別の教科書使用形態一覧」を参照されたい

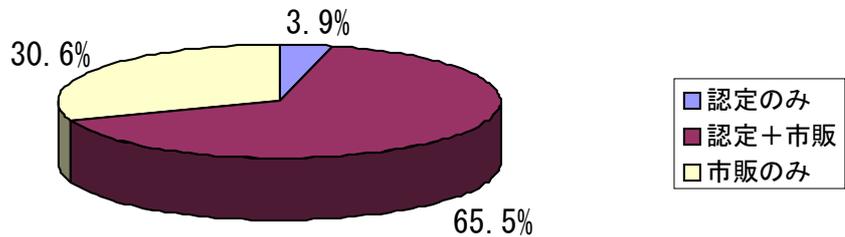


図2 教科書等の使用形態

教科書等の種類別使用状況は図3のとおりである。認定教科書の使用は、延 545 専攻科（以下「全専攻科」という）のうち 378 専攻科で使用されており、使用率は 69.4%である。しかし、認定教科書を全く使用していない専攻科が 167 専攻科あり、全専攻科の 30.6%を占めている。

次に市販図書の使用は、全専攻科のうち 524 専攻科で使用されており、使用率は 96.1%と非常に高く、ほとんどの専攻科で使用されている。

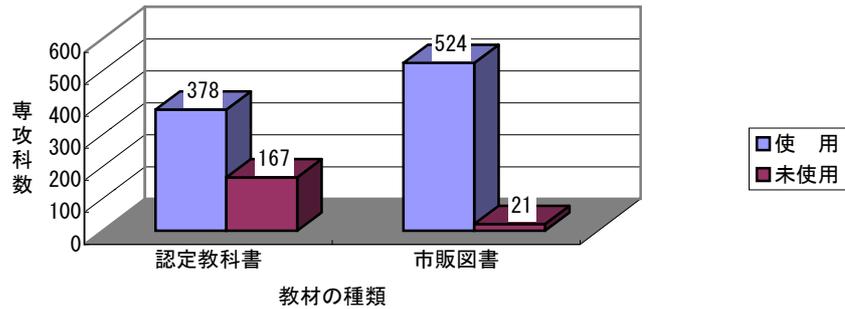


図3 教科書等の種類別使用状況 全専攻科：545科

認定教科書を主に使用している専攻科別の使用状況は、図4のとおりである。認定教科書を最も多く使用している各専攻科の使用状況は、機械加工科（設置科数28）のなかでは17冊、冷凍空調設備科（設置科数13）17冊、次にメカトロニクス科（設置科数27）16冊、配管科（設置科数12）15冊、精密加工科（設置科数16）14冊、電気機器科（設置科数5）14冊、電気工事科（設置科数50）14冊、木造建築科（設置科数43）14冊、塑性加工科科（設置科数11）13冊、溶接科（設置科数10）12冊機械製図科（設置科数13）12冊を使用している（以下省略）。

一部の専攻科を除いて殆どの専攻科については、教科目を教える認定教科書が全くなかったり、あるいは一部の教科目を教える認定教科書しかないのが実状といえる。

なお、集計結果の詳細は、別添参考資料 [3]「専攻科別の教科書活用状況一覧」を参照のこと。

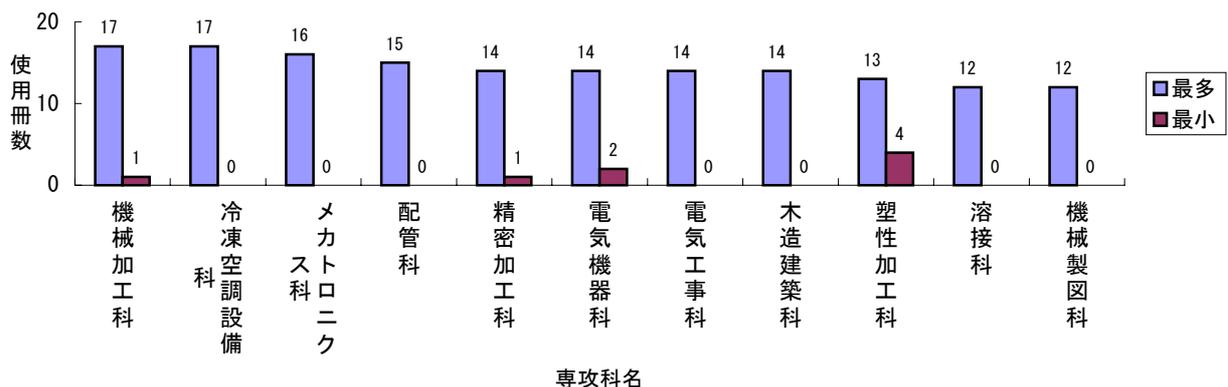


図4 専攻科別の認定教科書の使用状況

次に市販図書を主に使用している各専攻科別の使用状況は、図5のとおりである。

市販図書を最も多く使用している各専攻科別の使用状況は、OA事務科（設置科数31科）のなかでは38冊、ショップマネジメント科（設置科数2）のなかでは38冊、観光ビジネ

ス科（設置科数 4）37 冊、第二種自動車整備科（設置科数 61）、第一種自動車整備科（設置科数 24）31 冊使用している。

その他の専攻科で 20 冊以上の市販図書を使用している該当専攻科は、システム設計科他 13 の専攻科がある。

なお、集計の詳細は、別添参考資料 [3]「専攻科別教科書等の使用状況一覧」を参照のこと。

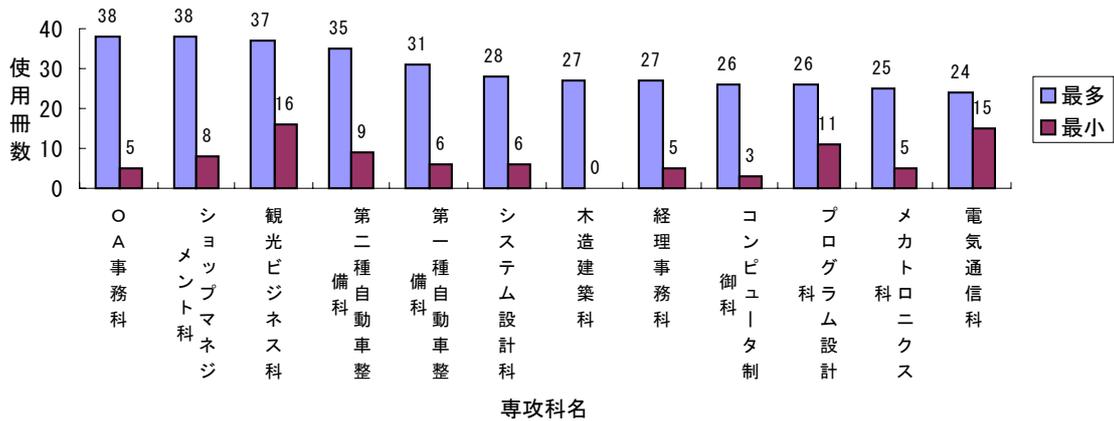


図 5 専攻科別の市販図書の使用状況

次に全専攻科で使用している教科書等の使用数（教科書の種類）は、3,326 冊で、内訳は、認定教科書が 491 冊、市販図書が 2,835 冊である。

使用している教科書等の総数に対し市販図書の使用比率が、85.2%を占めており、職業訓練用教材として市販図書への依存度の高さがうかがえる。

なお、集計結果の詳細は、別添参考資料 [3]「専攻科別の教科書活用状況一覧」を参照されたい。

（3）教科書の購入状況

教科書の購入状況は図 6 のとおりである。認定教科書と市販図書を併用している場合の購入額は 10,001 円～15,000 円が最も多く、全専攻科中 116 専攻科（比率 21.3%）であり、次に 15,001 円～20,000 円が 97 専攻科（比率 17.8%）、20,001 円～25,000 円が 75 専攻科（比率 13.8%）、10,001 円～25,000 円で約 52.8%を占めている。

教科書の購入額が 25,001 円以上の該当専攻科は 169 専攻科あり、全体の 31.0%を占めている。

認定教科書と市販図書の購入状況を個々にみると、購入額の比率が最も高いのが、認定教科書では 2,001 円～4,000 円で 80 専攻科（比率 14.7%）、市販図書では 10,001 円～15,000 円で 89 専攻科（比率 16.3%）ある。

認定教科書の購入額では 2,001 円～15,000 円、市販図書の購入額では、10,001 円～30,000 円に概ね集中しているが、教科書の購入費が 65,001 円を超える専攻科が 2 科ある。

なお、集計結果の詳細は、別添参考資料 [4]「専攻科別教科書の購入額状況一覧」を参照されたい。

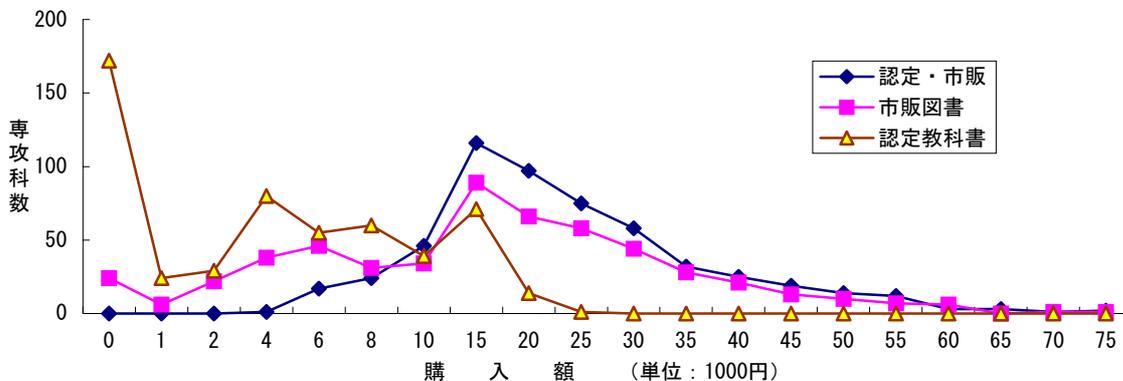


図6 教科書の購入状況

認定教科書を主に使用している各専攻科の教科書購入状況は、図7のとおりである。

認定教科書の購入額が各専攻科のなかで最も高額であった該当専攻科は、電気工事科である。

専攻科別に購入状況を見てみると、電気工事科（設置科数 50）のなかでは 23,926 円（平均購入額は 8,270 円、最低購入額は 1,554 円）、冷凍空調設備科（設置科数 13）のなかでは 19,845 円（平均購入額は 4,601 円、最低購入額は 900 円）、メカトロニクス科（設置科数 27）のなかでは 18,565 円（平均購入額は 9,572 円、最低購入額は 2,264 円）、精密加工科（設置科数 16）のなかでは 17,027 円（平均購入額は 8,096 円、最低購入額は 1,000 円）、機械加工科（設置科数 28）のなかでは 16,998 円（平均購入額は 10,282 円、最低購入額は 1,769 円）、配管科（設置科数 12）のなかでは 16,784 円（平均購入額は 5,635 円、最低購入額は 573 円）、電気機器科（設置科数 5）のなかでは 16,118 円（平均購入額は 8,384 円、最低購入額は 3,011 円）、塑性加工科（設置科数 11）のなかでは 13,313 円（平均購入額は 9,272 円、最低購入額は 3,449 円）である。

その他の専攻科で 10,000 円以上の認定教科書を購入している該当専攻科は、木工科、木造建築科、金属塗装科、建設機械整備科、機械製図科、コンピュータ制御科、溶接科、造園科の 8 科である（以下省略）。

各専攻科ごとの認定教科書購入額の最高額と平均額を比較してみると、建設機械整備科は、認定教科書の購入額にあまり差はないが、その他の専攻科は、購入額にかなり差がある。

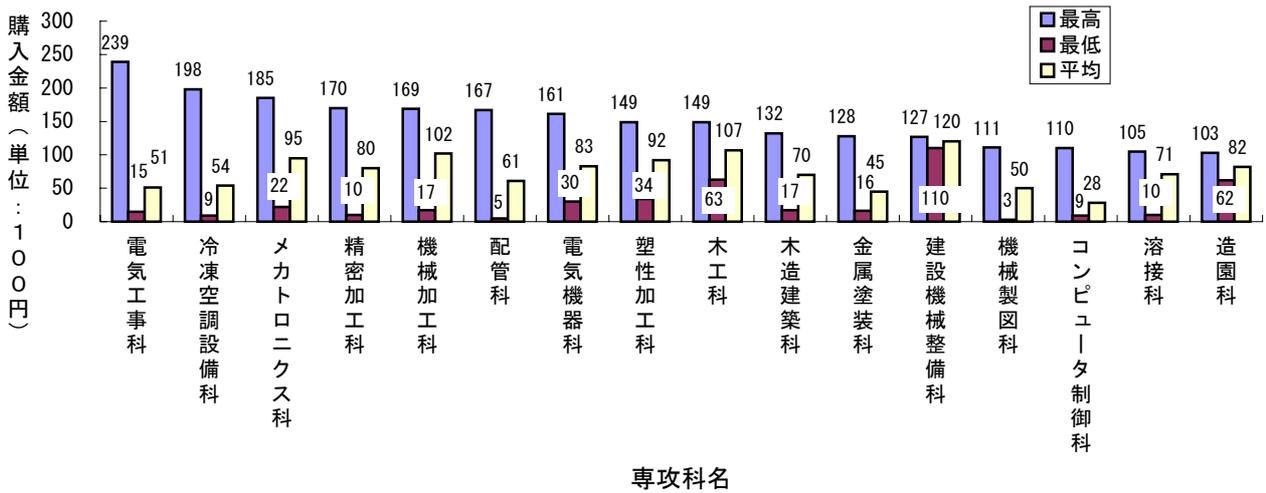


図 7 各専攻科別の教科書（認定教科書）の購入状況

次に市販図書を主に使用している各専攻科の市販図書購入状況は、図 8 のとおりである。

市販図書の購入額が各専攻科のなかで最も高額であった該当専攻科は、システム設計科である。専攻科別に購入状況をみると、システム設計科（設置科数 15）のなかでは 70,107 円（平均購入額は 38,251 円、最低購入額は 15,224 円）、木造建築科（設置科数 43）のなかでは 65,832 円（平均購入額は 7,567 円、最低購入額は 622 円）、コンピュータ制御科（設置科数 24）のなかでは 59,502 円（平均購入額は 26,975 円、最低購入額は 5,255 円）、電気通信科（設置科数 3）のなかでは 57,041 円（平均購入額は 45,219 円、最低購入額は 28,060 円）、第二種自動車整備科（設置科数 61）のなかでは 56,810 円（平均購入額は 25,031 円、最低購入額は 11,499 円）、洋裁科（設置科数 8）のなかでは 56,734 円（平均購入額は 18,360 円、最低購入額は 4,202 円）、プログラム設計科（設置科数 4）のなかでは 51,915 円（平均購入額は 35,838 円、最低購入額は 22,210 円）、OA 事務科（設置科数 31）のなかでは 49,809 円（平均購入額は 20,154 円、最低購入額は 5,345 円）、電気機器科（設置科数 5）のなかでは 48,813 円（平均購入額は 13,700 円、最低購入額は 2,400 円）である。その他の専攻科で 40,000 円以上の市販図書を購入している該当専攻科は、メカトロニクス科、建築設計科、第一種自動車整備科、OA システム科、製造設備科、電子機器科、精密加工科、電気機器科の 8 科である（以下省略）。各専攻科ごとの市販図書購入額の最高額と平均額を比較してみると、陶磁器製造科は設置科数が 2 科ということもあるが、市販図書の購入額にあまり差はない。しかし、その他の専攻科は、購入額にかなり差がある。なお、集計結果の詳細は、別添参考資料 [4]「専攻科別教科書の購入額状況一覧」を参照されたい。

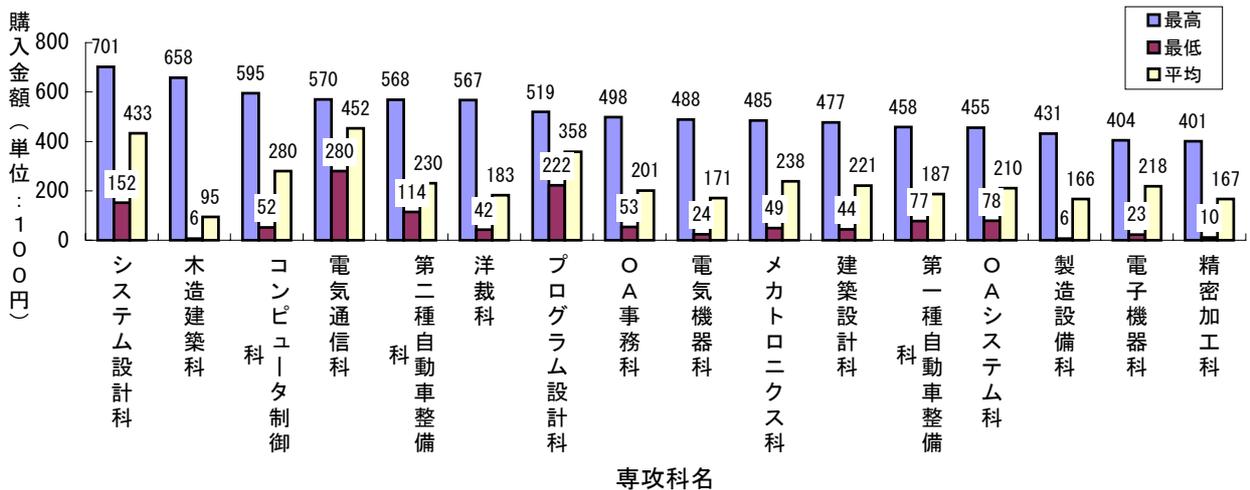


図8 各専攻科別の教科書（市販図書）の購入状況

3. 資料集作成の主旨と活用

(1) 教科書利用の概観

今回の教科書使用状況調査では延べ545専攻科から回答があり、その結果、使用している教科書の種類は2,021種類であった。その内訳は、認定教科書138種類、市販図書1,883種類である。また、これらの教科書を発行している出版社・団体等の数は585社であった（参考資料[7]掲載出版社の一覧を参照のこと）。

教科書等の使用状況は、1専攻科当たり単純平均で6.1冊（種類）使用していることになり、市販図書の使用冊数は認定教科書の5.8倍という結果になっている。

認定教科書の使用数が少なく、市販図書の使用数が多い主な要因は、①認定教科書は発行してから改訂までの期間が長く、技術革新の激しい職種に該当する専攻科は活用できる認定教科書があっても、内容が陳腐化しがちな認定教科書よりも市販図書を活用する傾向がある。また、OA及びIT関連の専攻科や教科目で使用する図書としては使用するソフトウェア等に関係する図書を教科書として使用している。②関係官庁から指定教習機関として指定を受けている専攻科は資格に結びつく関連の図書を教科書として使用している施設が多い。③施設では、訓練生の就職に結びつく教材（資格の取得や受験のための図書類）を相当活用している。④新規専攻科等の改変・開設などにより当該専攻科に活用できる認定教科書が少ない（既刊の認定教科書が、全ての専攻科の教科を教える教材として開発・作成されていない）。

(2) 教材情報としての資料集の役割

本資料集は、施設で使用されている教科書データを訓練系・専攻科ごとに分類し、各訓練系・専攻科でどのような教科書がどの教科目に活用されているのか一目で分かるように一覧表にまとめた。さらに、本資料集は、主たる教材である認定教科書・市販図書の活用

状況の分析と教科書の使用目的・内容等を掲載し、施設での教材選定をより一層容易にした。また本資料集には、掲載出版社別図書一覧を教材情報としてまとめた。

（３）資料集の構成と活用

資料集は、調査で回収した調査票をもとに、教科書を中心にした図書教材の使用実態を教材情報として提供できるよう、下記により分類・整理した。

- ①訓練系・専攻科別分類
- ②主な教科目
- ③教科目に対応する教科書（教材名・出版社名・著者名・価格）
- ④教科書の使用目的
- ⑤教科書の内容

この結果、調査票回答専攻科は、32 訓練系・54 専攻科に分類され、それぞれの訓練系・専攻科について上記①～⑤の内容をもつ一覧表が作成され、これが資料集の構成となっている。なお、一覧表の見方は、下記の4. 図書教材一覧の見方を参照されたい。

以上の構成により、資料集は、利用者が属する訓練系・専攻科の一覧表を参照することによって、教科書の情報を容易に入手することができるようになっている。

4. 図書教材一覧の見方

本資料集の一覧表の見方、注意事項は、次のとおりである。訓練系・専攻科別に教科書を一覧表にしたもので、表形式及び各項目の記述内容は、図9のとおりである。

なお、一覧表は以下の事柄に注意して参照されたい。

- a. この一覧表には、厚生労働省認定教科書及び市販図書が掲載されている。
- b. 文部省の検定教科書（高等学校用教科書）は、市販図書として扱っている。
- c. 図書教材名や価格等は、出版社や日本書籍総目録等で確認している。
- d. 出版社の住所等が確認できないものは、出版社一覧から削除した。
- e. 各施設から報告いただいたデータのうち、出版社等に問い合わせた結果、在庫がなく絶版になった市販図書については、削除した。
- f. 市販図書は、改訂、廃刊、値上げなどが突然行われることがある。下記事項を図書目録あるいは直接出版社に問い合わせる等により確認の上、入手等の措置を取られたい。

- ①図書名
- ②著作者名
- ③価格
- ④初版または改訂年度、及び今後の改廃予定
- ⑤在庫及び入手方法

g. 出版社等の問い合わせ先は、参考資料 [7] を参照されたい。

図9 使用している教科書の一覧表

科 目	教 科 目 に 対 応 す る 教 科 書			価 格	回答施設数：○施設								
	図 書 教 材 名	出 版 社 名	著 者 名		使 用 目 的			内 容					
					A	B	C	1	2	3	4		

【各項目の記述内容】

- ① 科目
普通課程の普通職業訓練の訓練基準（規則第十条、別表第二関係）に定められた教科目。
- ② 図書教材名
訓練科を系・専攻に分類し、各専攻科で使用していると回答のあった教科書。
- ③ 版社名
②でリストアップした教科書を発行している出版社等。
- ④ 著者名
②でリストアップした教科書の著者名。
末尾にある監あるいは編とある場合は、監は監修、編は編集を示す。
- ⑤ 価格
②でリストアップした教科書の価格。
価格は、本体価格＋消費税の合計額で示す。
- ⑥ 使用目的及び内容
②でリストアップした教科書の回答のあった使用の目的及び内容に分類。